

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	観光イベント開催事業 (ひだ荘川ふるさと祭り開催事業)	会計	1	一般	特別 予算の 位置 付け	O	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を 新たな観光資源として積極的に活用します。
	番 1			6	商工費			B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	荘川支所 基盤産業課		内線	2	観光費	C	D	その他事業	H25計画額	4,500	千円		
	3341	1		観光振興費									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	イベント来場者・荘川町民	どうしたい のか (意図)	・地域住民が参加しイベントを行い観光客の交流人口の増大を図る ・地場産業の活性化を図る ・次世代に受け継がれる郷土芸能の保存	概要	事業の実施 手法(手段)	・30頭の連獅子、荘川民謡や郷土芸能の披露と招待獅子の披露 ・郷土料理や特産品の販売
	対象者数	5,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・平成23年10月16日(日)イベント開催 ・30頭の連獅子や、各神社の獅子舞、荘川民謡等、郷土芸能の披露 ・荘川特産品や郷土料理の販売							
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	ふるさと祭りポスター配布件数	件	目標値	144	144	158	158	
算出根拠等	配布件数		実績値	144	144			
活動指標	ふるさと祭り運営会議開催		回	目標値	9	9	9	
算出根拠等	開催回数		実績値	10	9			
成果指標	ふるさと祭り来場者数		人	目標値	5,500	5,500	5,500	
算出根拠等	来場者数		実績値	6,000	5,000			
成果指標	荘川地域10月の観光客入込客数		人	目標値	60,000	60,000	60,000	
算出根拠等	観光客入込調査		実績値	58,752	62,885			
成果指標	イベント出店者売り上げ額		千円	目標値	2,500	2,500	2,500	
算出根拠等	売上額		実績値	2,694	2,429			
成果指標	荘川町民参加率		%	目標値	25	25	25	
算出根拠等	荘川町民÷荘川町民参加者×100		実績値	38	25			
補足	紅葉の時期に合わせて行イベントで、毎年多くの来場者で賑わう。昭和63年より開催し平成23年度で24回目となった。 毎年、地域住民が丸まってイベントを成功させようと団結し開催している。荘川町を離れた住民が、荘川に戻り一緒に祭りに参加し、「ふるさとのために」といった郷土愛が感じられる。荘川の伝統芸能がふるさと祭りを通して受け継がれている。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・イベント実行委員会が主体となり、地域で自主的に運営できるようイベントの見直しを行い、事業の継続を目指す。 ・荘川町全体が参加しているが、30頭の連獅子に参加する地域住民の高齢化が進み後継者不足となっている。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・事業を継続していくための、イベントの運営方針の見直しを図る。	
次年度の実 施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・地域における伝統芸能の保存・伝承、交流人口の増加による地域振興をはかるため、荘川地域には重要なイベントである。 ・荘川町の住民も継続すべきイベントとして位置付けているため、自己財源の確保に努め事業の継続を目指す。
	○ 二次評価 拡大 縮小 廃止検討	・地域主体の事業とすべく、特別期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	6,025	4,946	5,000	4,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,004	989	909	818
	受益者	(B)	6,000	5,000	5,500	5,500

5 予算編成(Action2)

事業 内容	住民参加型のイベントで、30頭の連獅子や民謡などの郷土芸能の披露と郷土料理や特産品販売を行う。	要 求 の ポ イ ン ト	イベントの実施に必要な経費の計上	事業 実 施 の 課 題	支 所	今後実施していくため、自己財源の確保を検討しなければならない。 町内の高齢化等により、後継者不足が進み今後の対策が必要	観 光 課	地域振興特別予算が平成26年度までの時限的の制度であることから、今後、段階的に自己負担割合を増やしていき、地域で自主的に運営できるよう見直し、実施に努めること。	地 域 政 策 課	合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容や地元負担割合等の精査を行うとともに、継続について、地域と十分協議する必要がある。 来場者とその属性、交通・景観・環境・衛生面など様々な視点から事業の効果、改善点を検証する必要がある。
----------	---	---------------------------------	------------------	-----------------------------	--------	--	-------------	--	-----------------------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,000	4,500	△ 500	4,500	4,500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,000	4,500	△ 500	4,500	4,500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	観光イベント開催事業 (ひだ庄川清流あまご・やまめ釣り大会)	会計	1	一般	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を 新たな観光資源として積極的に活用します。
	番 2			6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	庄川支所 基盤産業課		内線 3341	2	観光費	目	1	観光振興費	H25計画額	300 千円			
	項	1		観光振興費									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	イベント参加者	どうしたい のか (意図)	・庄川地域に数多くの釣りファンを招き、自然と清流の釣りのメッカとしての地位を確立する。また釣りのみならず、他のイベントや各観光施設に訪れる機会を創出することとなり、交流人口の増加による地域振興が図られる。	概要	事業の実施 手法(手段)	・年に1~2回の釣り大会 ・大会前日は、旅館組合員の宿泊施設に宿泊し、宿泊代と参加費をセットとする。
	対象者数	140 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	平成23年5月29日(日)開催 平成23年9月 9日(日)は台風の影響で中止						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	あまご・やまめ釣り大会回数	回	目標値 実績値	2 2	1 1	2 2	1 1
成果 指標	算出根拠等	大会開催回数	達成率(%)	50			
	遊漁証交付件数	人	目標値 実績値	5,569 5,198	4,661	4,825	5,000
成果 指標	算出根拠等	交付件数	達成率(%)	84			
	あまご・やまめ釣り大会参加者	人	目標値 実績値	140 163	65	140	100
成果 指標	算出根拠等	参加者数	達成率(%)	46			
	庄川町宿泊者数(1月~12月)	人	目標値 実績値	50,000 50,978	49,327	50,000	50,000
成果 指標	算出根拠等	宿泊者数	達成率(%)	99			
	イベント時宿泊者売上推計	千円	目標値 実績値	1,260 1,223	488	1,050	525
成果 指標	算出根拠等	参加人数×宿泊費(7,500円)	達成率(%)	39			
	イベント時宿泊者数		目標値 実績値	140 163	65	140	70
補足	算出根拠等		達成率(%)	46			
	昭和55年から開催されており歴史も古く、多くの釣り客がリピーターとなり毎年参加している。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・2回を予定していたが、台風の影響で9月開催分を中止した。 ・リピーターのみならず、多くの人に参加してもらえよう取り組みが必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・自己財源の確保に努め、自主・自立した事業実施を指導する。	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・自主・自立した事業展開を行うため、事業内容の見直しを行う。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・地域主体の事業とすべく、特別期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	700	397	500	300
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,294	6,108	3,571	3,000
	イベント参加者	(B)	163	65	140	100

5 予算編成(Action2)

事業 内容	イベント実行委員会実施事業 宿泊型の釣り客を募集して、庄川で釣り大会を実施する	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支 所	自己財源の確保に努め自立した事業展開を行う。	観 光 課	地域振興特別予算が平成26年度までの時限的的制度であることから、今後、段階的に自己負担割合を増やしていき、地域で自主的に運営できるよう見直し、実施に努めること。	地 域 政 策 課	合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容や地元負担割合等の精査を行うとともに、継続について、地域と十分協議する必要がある。 来場者とその属性、交通・景観・環境・衛生面など様々な視点から事業の効果、改善点を検証する必要がある。
----------	--	-------------	-----------------	--------	------------------------	-------------	--	-----------------------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		500	300	△ 200	300	300	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	500	300	△ 200	300	300		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	観光イベント開催事業 (ひだ荘川ふるさと夏まつり開催事業)	会計	1	一般	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
	番付			3	6			商工費	B				
担当課	荘川支所 基盤産業課		内線	2	観光費	目	1	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	2,900 千円		
		3341		1	観光振興費			D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全トヨタ労働組合員、荘川町民	どうしたい のか (意図)	・全トヨタ労働組合連合会と連携して飛騨荘川ふるさと村づくりの取り組みや、組合員のふるさととして多くの方に季節を問わず荘川へ訪れていただき、町民との交流による地域の活性化を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・全トヨタ労働組合連合会と連携して夏に1泊2日のイベントを開催。 (魚つかみ・星空観察・盆踊り・打ち上げ花火・飛騨牛や地元食材のバーベキューなど)
	対象者数	322,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・平成23年7月30日(土)～31日(日)イベント開催 盆踊り、星空観察、打ち上げ花火、魚つかみ、地元食材バーベキュー、じゃがいも収穫体験							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	イベント時パンフレット配布組数	組	目標値		75	130	130
				実績値	100	75		
	算出根拠等		配布数	達成率(%)		100		
	成果 指標	荘川町宿泊者数(1月～12月)	人	目標値		50,000	50,000	50,000
				実績値	50,978	49,327		
	算出根拠等		宿泊者数	達成率(%)		99		
	成果 指標	組合員ふるさと村役場来村者数	人	目標値		6,400	6,400	6,400
				実績値	6,350	6,400		
	算出根拠等		来村者数	達成率(%)		100		
	成果 指標	ふるさと夏まつり参加者数	人	目標値		650	650	650
				実績値	610	568		
	算出根拠等		参加者数	達成率(%)		87		
	成果 指標	宿泊者数(イベント期間中)	人	目標値		450	550	550
実績値				410	360			
算出根拠等		宿泊者数	達成率(%)		80			
補足				目標値				
				実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
・全トヨタ労連の各単独組合が、定期的に研修会やイベントを行い荘川町に訪れるため、宿泊施設や各商店等地域の活性化につながっている。								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・全国規模の全トヨタ労働組合の影響は大きく、毎年安定した来客数が見込まれる。今後は、より多くの組合員に訪れてもらえるよう 宣伝PRが必要である。 ・組合員と荘川町民の交流の場が少なく、荘川町民と交流する事ができるような内容を検討する。 ・荘川町へ年間を通して来てもらえるような地域づくり
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・全トヨタ労働組合との連携により、組合員に荘川地域の宣伝PR活動を行う。 ・組合員と荘川町民が交流できるような場を検討する。 ・荘川地域の魅力を知ってもらうための体験型のイベントの実施を検討する。	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善	全トヨタ労働組合との連携により継続する。
	○ 拡大	
二次 評価	○ 縮小	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、イベントのあり方について検討する必要がある。
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,000	2,689	3,000	2,900
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,918	4,734	4,615	4,462
	受益者	イベント参加者	(B)	610	568	650

5 予算編成(Action2)

事業 内容	全トヨタ労働組合連合会と連携し、飛騨荘川ふるさと村づくりに取り組み20年 を迎え、今後も組合と連携しイベントを開催する。 組合員を対象に1泊2日の滞在型イベントの実施 (魚つかみ、盆踊り、花火大会、収穫体験 他)	要 求 の ポ イ ン ト	イベント開催に係る経費の計上	事業 実 施 の 課 題	支 所	全トヨタ労働組合連合会に所属する組合員が、より多くの方が訪れる よう、荘川が「ふるさと」になるための地域づくりと宣伝活動が必要である。	観 光 課	地域振興特別予算が平成26年度までの時限的的制度であることから、今後、段 階的に自己負担割合を増やしていき、地域で自主的に運営できるよう見直 し、実施に努めること。	地 域 政 策 課	合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について 各事業の内容や地元負担割合等の精査を行うとともに、継続について、地域 と十分協議する必要がある。 来場者とその属性、交通・景観・環境・衛生面など様々な視点から事業の効 果、改善点を検証する必要がある。
----------	---	---------------------------------	----------------	-----------------------------	--------	--	-------------	--	-----------------------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,000	2,900	△ 100	2,900	2,900	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	3,000	2,900	△ 100	2,900	2,900		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	観光イベント開催事業 (ひだ荘川ふるさと雪まつり)	会計	1 一般	特別 予算の 位置 付け	○ A 合併前から実施されているイベント・行事 B 一般予算の上乗せとして実施されている事業 C 終期を定めて実施する事業・単年度事業 D その他事業	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
	番 4			6 商工費						
担当課	荘川支所 基盤産業課		内線	2 観光費	H25計画額	1,000 千円				
	3341			1 観光振興費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全トヨタ労働組合員	どうしたい のか (意図)	・全トヨタ労働組合連合会と連携して飛騨荘川ふるさと村づくりの取り組みや、組合員のふるさととして多くの方に季節を問わず荘川へ訪れてもらえるような地域づくり。	概要	事業の実施 手法(手段)	・全トヨタ労働組合連合会と連携して冬に1泊2日のイベントを開催 (飛騨牛や地元食材のバーベキュー・雪遊び・雪像造り・餅つきなど)
	対象者数	322,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		・平成24年2月18日(土)イベント開催 雪遊び・雪像造り・地元食材のバーベキュー・餅つき						
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	イベント時パンフレット配布枚数	枚	目標値		34	40	40
				実績値	35	34		
	算出根拠等		配布数	達成率(%)		100		
	成果 指標	荘川町宿泊者数(1~12月)	人	目標値		50,000	50,000	50,000
				実績値	50,978	49,327		
	算出根拠等		宿泊者数	達成率(%)		99		
	成果 指標	組合員ふるさと村役場来村者	人	目標値		6,400	6,400	6,400
				実績値	6,350	6,400		
	算出根拠等		来村者数	達成率(%)		100		
	成果 指標	ふるさと夏まつり参加者数	人	目標値		250	270	270
				実績値	267	270		
	算出根拠等		参加者数	達成率(%)		108		
	成果 指標	宿泊者数(イベント期間中)	円	目標値		150	150	150
実績値				160	150			
算出根拠等		宿泊者数	達成率(%)		100			
算出根拠等			達成率(%)					
補足	・全トヨタ労連の各単独組合が、定期的に研修会やイベントを行い荘川町に訪れるため、宿泊施設や各商店等地域の活性化につながっている。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・全国規模の全トヨタ労働組合の影響は大きく、毎年安定した来客数が見込まれる。今後は、より多くの組合員に訪れてもらえるよう 宣伝PRが必要である。 ・組合員と荘川町民の交流の場が少なく、荘川町民と交流する事ができるような内容を検討する。 ・荘川町へ年間を通して来てもらえるような地域づくり
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・全トヨタ労働組合との連携により、組合員に荘川地域の宣伝PR活動を行う。 ・組合員と荘川町民が交流できるような場を検討する。 ・荘川地域の魅力を知ってもらうための体験型のイベントの実施を検討する。	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善	全トヨタ労働組合との連携により継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○ 維持・改善	・地域主体の事業とすべく、特別期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、イベントのあり方について検討する必要がある。
	○ 縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	999	1,311	1,000	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,742	4,856	3,704	3,704
	受益者	イベント参加者	(B)	267	270	270

5 予算編成(Action2)

事業 内容	全トヨタ労働組合連合会と連携し、飛騨荘川ふるさと村づくりに取り組み20年を迎え、今後も組合と連携しイベントを開催する。 組合員を対象に1泊2日の滞在型イベントの実施 (雪像コンテスト、雪の滑り台、雪遊び、地域特産品の夕食 他)	要 求 の ポ イ ン ト	イベント開催に係る経費の計上	支 所	全トヨタ労働組合連合会に所属する組合員が、より多くの方が訪れるよう、荘川が「ふるさと」になるための地域づくりと宣伝活動が必要である。	観 光 課	地域振興特別予算が平成26年度までの時限的的制度であることから、今後、段階的に自己負担割合を増やしていき、地域で自主的に運営できるよう見直し、実施に努めること。
地 域 政 策 課	合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容や地元負担割合等の精査を行うとともに、継続について、地域と十分協議する必要がある。 来場者とその属性、交通・景観・環境・衛生面など様々な視点から事業の効果、改善点を検証する必要がある。						

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,000	1,000	0	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,000	1,000	0	1,000	1,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21899	地域自然環境保全事業 (ササユリ群生地保護活動助成事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
	款			2	総務費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	荘川支所 基盤産業課	内線 3341	目	項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	130 千円	8
				目	18	環境政策費		D	その他事業			

・豊かな自然環境を守り、環境モデル都市を作ります。
・環境保全に取り組みます。

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町惣則地区住民	どうしたいのか(意図)	・全国的にも年々減少傾向にある「ササユリ」の保護及び育成 ・電牧の設置、雑木撤去、草刈、群生地地域の監視など、地域が一丸となって活動実施 ・ササユリの保護及び育成を通して、農村地域の景観保全や、地域住民の協調性を再確認し、自然と共存するやさしいまちづくりを目指しています。	概要	事業の実施手法(手段)	・電牧柵の設置及び撤去 ・地域内の雑木除去及び雑草刈り ・地域内の監視及び手入れ
	対象者数	67 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	電気柵の設置及び撤去、雑木除去や草刈りなどの清掃管理など、地域が一丸となって保護活動を実施。開花期訪れる観光客へのパンフレット配布や積極的に案内等を行い、ササユリの保護保全の難しさや大切さを理解していただくように務めている。ササユリの保護・育成活動を通じて、本来あるべき中山間地域の景観を再確認し、地域住民の一体感が醸成された。							
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	清掃・草刈り活動(4月～9月:毎月)	回	目標値			6	6	6
算出根拠等	実施回数	達成率(%)			6	6	6	6
活動指標	電気柵設置・撤去等		回	目標値		2	2	2
	算出根拠等	実施回数	達成率(%)		2	2	2	2
成果指標	ササユリの開花数		本	目標値		10,000	10,200	10,300
	算出根拠等	開花数	達成率(%)		10,000	10,000	10,200	10,300
成果指標	観光客数		人	目標値		900	1,000	1,100
	算出根拠等	観光客数	達成率(%)		未計測	900	1,000	1,100
算出根拠等				目標値				
				実績値				
算出根拠等				達成率(%)				
				目標値				
算出根拠等				実績値				
				達成率(%)				
補足	惣則地区は限界集落であり、地域の誇りとしての「景観形成」(景観重点区域)や「宝」であるササユリを懸命に守っている。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	保護活動は主に高齢者の方が主体となっており、今後の保護活動の後継者不足が問題である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	景観重点区域であり、限界集落でありながらササユリを通して自然環境保全活動を行っている。現在後継者不足が問題であるが、どのようにして保全していくかが課題である。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大	・ササユリは、30日余りの暑さと20日余りの寒さで種子が発芽し、3年をかけ無事に球根肥大を終えたササユリのみが開花する。 ・荘川町惣則地区の群生地は、ササユリが自然繁殖可能で開花に適した環境が整っている特別な地区である。 ・地域の方々により保護活動が行われることにより景観形成にもつながるとともに、市長公約でもある環境モデル都市づくりの取り組みとして、今後も継続する必要がある。
	○維持・改善 縮小 廃止検討	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・自然環境の保護・保存に取り組む市民団体等に対する支援のあり方について整理する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	130	130	130	130
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,940	1,940	1,940	1,940
	受益者	(B)	67	67	67	67

5 予算編成(Action2)

事業内容	荘川地域の花である「ササユリ」の群生地を保護保全する。特にイノシシ被害から守るため、電牧柵を周辺に張り巡らし、秋には「カリヤス」を刈取り、区域内の整備を行う。	要求のポイント	「ササユリ」の保護育成活動に対する助成	事業実施の課題	支所 保護活動は高齢者の方が主体となっており、後継者不足が課題である。	環境政策推進課 地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。	地域政策課 同上
------	---	---------	---------------------	---------	--	---	-------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	130	130	0	130	130	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	130	130	0	130	130		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	5 医療・福祉を充実させます。 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、 独居老人、要介護者等への地域福祉体制を整備します。
	款			3	民生費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
	項			1	社会福祉費	C		終期を定めて実施する事業・単年度事業					
	目			3	老人福祉費	D		その他事業					
担当課	荘川支所 地域振興課		内線	3312		H25計画額		420 千円					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	どうしたいのか (意図)	地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画の促進	概要	事業の実施 手法(手段)	高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、高齢者の生きがいと健康づくり、福祉の向上のために助成することにより、各種活動の育成、支援を行う。
	対象者数	10,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成							
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,500	10,000	10,000	
	実績値	10,405	9,796					
	算出根拠等		達成率(%)	99	93			
活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数		クラブ	目標値	150	150	143	139
	実績値	150	143					
	算出根拠等		達成率(%)	100	95			
成果指標	連合長寿会加入率		%	目標値	42	43	43	38
	実績値	42	39					
	算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人口	達成率(%)	99	91			
活動指標				目標値				
	実績値							
	算出根拠等		達成率(%)					
活動指標				目標値				
	実績値							
	算出根拠等		達成率(%)					
成果指標				目標値				
	実績値							
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりを深めながら、連合長寿会への加入メリットを生かした活発な活動に向けた取り組みが必要である。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。	
次年度 の実施方針	○維持・改善	老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	420	420	420	420
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,834	1,883	1,850	1,850
	受益者	荘川区会員(4月1日現在)	(B)	229	223	227

5 予算編成(Action2)

事業内容	・高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブの各種活動の育成、支援を行うため、その事務局人件費の助成を行う。	要求の ポイント	・各老人クラブ事務局人件費	事業 実施の 課題	・地域を基盤とした老人クラブの展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般予算(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。	高年 介護 課	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般予算(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。
					・支所地域の老人クラブへの補助は人件費を補助対象としているため、早急に高山地域と同条件となるよう調整し、一般予算化の検討が必要である。	地域 政策 課	

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		420	420	0	420	420	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金	280	280	0	280	280		
	その他			0				
	一般財源	140	140	0	140	140		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	地域観光振興事業 (荘川桜観光対策事業)	予算	会計	1	一般	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
	款			6	商工費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	荘川支所 基盤産業課	内線 3341	予算	項	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	2,000 千円		
				目	1	観光振興費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川桜来客者	どうしたいのか (意図)	樹齢500年の荘川桜が開花する4月下旬から5月上旬は多くの観光客が荘川を訪れる。岐阜県の三大桜として有名な荘川桜を観光資源とし活用し誘客を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通案内看板の設置と会場での荘川桜案内ガイドの委託 ・駐車場の交通警備委託 ・駐車場環境整備(仮設トイレの設置・観光案内ブース設置)
	対象者数	28,559 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	平成23年4月22日～5月9日まで実施 ・交通案内看板の設置と会場での荘川桜案内ガイドの委託 ・駐車場の交通警備委託 ・駐車場環境整備(仮設トイレの設置・観光案内ブース設置) 平成23年4月29日～5月5日まで実施						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	シャトルバス運行日数	日	目標値		7	0	0
			実績値		-	7	
算出根拠等 運行日数			達成率(%)		100		
活動指標	荘川桜開花時交通警備業務日数	日	目標値		16	16	17
			実績値		16	16	
算出根拠等 交通警備業務日数			達成率(%)		100		
成果指標	荘川桜来客者数	人	目標値		30,000	50,000	50,000
			実績値		52,610	28,559	
算出根拠等 来客者数			達成率(%)		95		
成果指標	荘川町内4. 5月の観光客入込客数	千人	目標値		120	200	200
			実績値		263	100	
算出根拠等 観光客入込客数			達成率(%)		83		
成果指標	シャトルバス乗車人数	人	目標値		1,500	0	0
			実績値		-	514	
算出根拠等 乗車人数			達成率(%)		34		
成果指標	荘川桜2世配布(延べ件数)	本	目標値			3,200	3,300
			実績値		-	3,176	
算出根拠等 配布本数			達成率(%)				
補足	荘川桜の2世を育て、希望者に配布し桜の移植物語を全国に発信している。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	駐車場が狭いため、荘川桜開花時は混雑するが、道の駅でシャトルバスに乗り替え荘川桜へ向かう方は少なかったことから、シャトルバスの運行効果は見られなかった。 来年度はシャトルバスの運行は取りやめる。 観光客が多く訪れる荘川桜公園で荘川特産品等の販売を拡大し地域振興につなげる必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	観光客の年齢層や観光ルート、桜の知名度などの調査を行い今後の観光誘客につなげる	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	ぎふ桜サミットの開催 荘川桜公園での荘川特産品の販売の拡大。 一年を通しての誘客についての検討が必要である。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、事業のあり方について検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,912	2,847	2,200	2,020
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	36	100	57	40
	受益者	荘川桜来客者	(B)	52,610	28,559	38,758

5 予算編成(Action2)

事業内容	荘川桜開花により観光客が増加するため、駐車場の環境整備を行う。 荘川桜駐車場が込み合うため、警備員を配置し事故防止に努める。 荘川桜での観光案内ブース設置と仮設トイレの設置。 荘川桜までの案内看板の設置、	要求の ポイント	荘川桜開花に伴い観光客が多く訪れるため、荘川桜駐車場の環境整備に係る経費	事業 実施 の 課題	桜開花時は多くの観光客が訪れるため、荘川町の特産品を販売する店舗数の拡大やPRを行う良い機会なので、荘川桜公園の利用の見直しが必要。	観光課	桜の時期以外の季節の誘客対策を検討すること。
						地域政策課	事業効果の詳細な分析と今後の誘客への取り組みへの反映が必要である。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,200	2,020	△ 180	2,000	2,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	2,200	2,020	△ 180	2,000	2,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72199	地域道路橋りょう管理振興事業費 (市道未登記用地測量事業)	予 算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公 約	4 個人・家庭・地域を大切に する社会を築きます。 ・日常生活における買い物、 通勤、通学、通院等の移動 手段を確保するため、市民の 生活を守る公共交通網を整備 します。
	款			7	土木費	○		B	一般予算の上乗せとして 実施されている事業				
担当課	荘川支所 基盤産業課	内線 3331		項	2	道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・ 単年度事業	H25計画額	4,000 千円		
				目	1	道路橋りょう総務費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市道内に残る民地の地権者及び市道利用者(荘川町の住民)	どうしたいのか (意図)	・市道未登記箇所を整理することで、所有権主張によるトラブルを未然に防ぎ良好な道路管理を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	・市道未登記箇所の確定測量を行い登記関係書類を作成し、所有者からの寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。
	対象者数	1,274 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	市道平頭～町屋線の一部(面積測量:20,654㎡ 分筆登記済数:2件)							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指 標	対象路線数	本	目標値	2	1	1	3
				実績値	2	1		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
	成果 指 標	面積測量	㎡	目標値	11,709	35,963	2,537	80,903
				実績値	11,726	20,654		
	算出根拠等			達成率(%)	100	57		
	成果 指 標	登記済筆数	筆	目標値	19	2	13	22
				実績値	19	2		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
	成果 指 標			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	補 足	未登記路線(15路線)の現況は、登記完了7路線、相続関係を残し一部登記完了3路線、進行中は1路線、未着手は4路線である。進行中の平頭～町屋線(約2650m)はH22年度から3ヶ年で計画をしている。		目標値				
				実績値				
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	過去の経緯が不明なため、市道用地の寄付だけでは理解していただけないケースもあるが、概ね市への所有権移転については理解と協力を得られた。しかし、字絵図に不接合の箇所がある場合は、民境界の画定に個々の主張があり時間を必要とする。さらに、未相続の土地や共有地の場合もあり相続、分筆登記、所有権移転に時間を必要とする。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	年次計画に基づき実施する。早期完了を目指し前倒しを検討する。		
次 年 度 の 実 施 方 針	担 当 課 評 価	維持・改善 ○ 拡大 縮小 廃止検討	進行中の路線の早期完了を目指すとともに、残りの未登記路線(4路線)を計画的に実施する。
	二 次 評 価	維持・改善 ○ 拡大 縮小 廃止検討	・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 3,996	3,950	4,500	6,950
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 3,088	3,069	3,532	5,455
	受益者	(B) 荘川町の住民	1,294	1,287	1,274

5 予算編成(Action2)

事業内容	市道未登記用地の調査、測量、登記	要求の ポ イ ン ト	事業 実 施 の 課 題	支 所	公園不接合の箇所がある場合は、民々境界の確定に時間を必要とする。未相続の土地や共有地の場合もあり、相続、分筆登記、所有権移転に時間を必要とする。	維 持 課	世代交代が進んでいくため、早めに地権者の承諾を得て、未登記路線の解消を進めること。
						地 域 政 策 課	積極的に事業を推進すること。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,500	6,950	2,450	7,000	7,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	4,500	6,950	2,450	7,000	7,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94199	花いっぱい運動推進事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画、花いっぱい運動推進計画	市長 公約	8	・個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます。 ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため地域のコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。
	種別			款	9	教育費		○	B					
担当課	荘川支所 基盤産業課		内線 3341	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	2,200 千円			
	目	1		社会教育総務費	D	その他事業								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川地域の住民	どうしたいのか (意図)	高山市民憲章の具現化に努め、明るい環境づくりを推進する。町内会が主体となって道路の沿道や施設の周辺等の花の植栽や草刈りなどの環境整備を行い、地域が一体となって花いっぱい運動を実施する。花を育てることで広がる地域内のコミュニケーションづくりの推進にもつながら、また国道沿線の花壇を美しくすることは、訪れる人々への心地よい空間の提供となり、地域全体で「おもてなしのまち」の醸成につながる。	概要	事業の実施 手法(手段)	・道路沿線及び地域花壇(1,523㎡)の花苗、肥料等の購入、植栽及び花壇の管理委託 ・花苗の購入: マリーゴールド18,200本、ペゴニア3,150本、ハンジュー14,096本 ・肥料の購入: 腐葉土、養分油かす、腐熟鶏糞等 ・消耗品の購入: 農デール等 ・管理: 土づくり、定植、維持管理
	対象者数	1,274 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	道路の沿道や施設の周辺等の花の植栽や草刈りなどの環境整備を行い、地域が一体となって花いっぱい運動を実施。花を育てることで広がる地域内のコミュニケーションづくり、国道沿線の花壇美化を行って訪れる人々への心地よい空間づくりを行った。								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
	活動指標	肥料・花苗配布箇所	箇所	目標値		17		16	16
				実績値	18	17			
				算出根拠等	配布件数(町内会)		達成率(%)	100	
	活動指標	花苗配布本数	本	目標値		38,000		35,596	34,056
				実績値	40,571	37,296			
				算出根拠等	配布本数		達成率(%)	98	
	成果指標	管理委託花壇面積	㎡	目標値		1,598		1,523	1,523
				実績値	1,598	1,598			
				算出根拠等	花壇面積(町内会)		達成率(%)	100	
	算出根拠等			目標値					
				実績値					
		達成率(%)							
算出根拠等			目標値						
			実績値						
			達成率(%)						
算出根拠等			目標値						
			実績値						
			達成率(%)						
補足	花いっぱい運動を通じて地域が丸くなって環境整備や美化運動につとめ、訪れる方が気持ちよくなるよう努めている。								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・花で明るい町となるよう景観に対する意識をさらに高め、継続的な取り組みが必要である。 ・荘川地域にふさわしい花を選定する必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・低コストで環境整備、美化活動を町内会で行っている。 ・花壇の管理は委託で町内会が行っており、昨年度から管理に対する委託料の見直しを行っている所であるが、他地域との差別化を図るためにも荘川地域にふさわしい花の選定を行い、より効果のある取り組みとなるよう検討する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・荘川地域にふさわしい花の研究を進めながら、事業を引き続き継続する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,959	1,928	2,050	1,690
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,514	1,498	1,609	1,327
	受益者	荘川地域住民	(B)	1,294	1,287	1,274

5 予算編成(Action2)

事業内容	道路沿線及び地域花壇(16地区)の花苗、肥料等の購入、植栽及び花壇の管理委託	要求の ポイント	町内会が主体となって道路の沿道や施設の周辺等に花の植栽や草刈りの環境整備を行い、地域が一体となって花いっぱいの運動を実施	事業実施の 課題	支所で明るい町づくりにむけて、地域が自主的に花壇づくりに取り組める方向への検討。	市民活動推進課 地域政策課	地域社会教育事業は、花いっぱい運動に係る経費として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。予算措置の内容は、管理委託や花苗等の配付等、地域によって異なっている。 現在、市民憲章推進協議会が実施している花いっぱい運動に対する助成等類似事業との関係を整理しているところであり、当面、当該事業を継続するなかで、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
------	--	-------------	--	-------------	--	------------------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,050	1,690	△ 360	1,690	1,690	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,050	1,690	△ 360	1,690	1,690		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	地域文化振興事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	9 「伝統文化を守り、次代へ継承します」 「芸術文化の振興を積極的に行います」 ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいを、若者の社会参加へのやる気づくりにもつなげる芸術文化活動をさらに浸透させ広げていく
	款			9	教育費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	荘川支所 地域振興課	内線	3312	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	1,100 千円		
				目	6	文化振興費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川地域住民	どうしたいのか (意図)	優れた芸術文化に触れる機会の充実と地域に根ざした文化振興を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	地域が主体となって取り組む文化振興事業に対する助成 ・文化講演会、文化祭(文化展)の開催
	対象者数	1,274 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	平成23年9月9日(金) 文化講演会開催(講師名越 康文氏) 平成23年11月2、3日(水、木)文化祭、文化展							
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	文化講演会チラシ配布枚数	枚	目標値			900	900	900
	実績値	900						
	算出根拠等	配布枚数	達成率(%)			100		
活動指標	文化展チラシ配布枚数		枚	目標値		700	700	700
	実績値	700	700					
	算出根拠等	配布枚数	達成率(%)			100		
成果指標	文化講演会入場者数		人	目標値		220	150	150
	実績値	250	140					
	算出根拠等	入場者数	達成率(%)			64		
成果指標	文化展入場者数		人	目標値		350	350	350
	実績値	330	350					
	算出根拠等	入場者数	達成率(%)			100		
補足				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	住民がもっと参加しやすくなるように講演会や展示会などの内容を充実させる必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	住民がもっと参加しやすくなる内容等検討していく。	
次年度の実 施方針	○維持・改善	・ニーズにあった文化講演会や文化祭を開催するため、今後も改善を図りながら実施する。 ・支所のエントランスや高山市図書館荘川分館での作品展示等、活動や取り組みの成果を見ていただく場を設けるよう検討する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,100	1,100	1,100	1,100
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	846	850	863	863
	受益者	荘川地域住民(4月1日現在)	(B)	1,301	1,294	1,274

5 予算編成(Action2)

事業内容	地域が主体となって取り組む文化振興事業に対する助成 ・文化講演会、文化祭(文化展)の開催	要求の ポイント	・文化に触れ合う多くの機会を創出することで町民の文化に対する興味や関心を高めるとともに、地域固有の文化の発掘や伝承文化の維持発展を図るため、文化振興事業への助成を実施する。	事業実施 の課題	・住民がもっと参加しやすくなるように講演会や展示会などの内容の検討が必要	生涯学 習課	・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なっているため、一定のルール化について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。
						地域政 策課	・同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,100	1,100	0	1,100	1,100	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,100	1,100	0	1,100	1,100		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	庄川文化財保存振興事業 (庄川民謡保存会助成事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	106「合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします」 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り 合って取り組む活動に支援します。
	款			9	教育費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	庄川支所 地域振興課	内線 3312	項	目	4	社会教育費	H25計画額	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	45	千円		
				目	7	文化財費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	庄川民謡保存会会員及び中学生(保存会参加者)	どうしたいのか (意図)	市無形文化財「庄川民謡」の保存・活動を行っている団体に対して活動助成し、伝統芸能「庄川民謡」の保存と伝承を推進することや、地域の子どもたちに伝えて後継者を育成する	概要	事業の実施 手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校を対象として後継者育成のための学習会開催 ・各事業での庄川民謡披露 ・民謡衣裳等の保存管理
	対象者数	43 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	各イベント時の民謡披露(女性部盆踊り講習会、庄川ふるさと夏まつり、町民盆踊り会、ふるさとまつり、芸能祭等)							
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	民謡練習回数	回	目標値 実績値		12 12	12 12	12 12
算出根拠等	月1回の練習			達成率(%)		100		
活動指標	中学生を対象とした指導		回	目標値 実績値		8 4	8 4	8 4
	算出根拠等	中学校への訪問回数		達成率(%)		50		
成果指標	各行事公演回数		回	目標値 実績値		6 6	6 6	6 6
	算出根拠等	庄川民謡披露回数		達成率(%)		83		
成果指標	中学生の保存会参加人数		人	目標値 実績値		24 28	30 24	28 24
	算出根拠等	中学生の人数		達成率(%)		100		
算出根拠等				目標値 実績値				
				達成率(%)				
補足				目標値 実績値				
				達成率(%)				
中学生の後継者育成の為に3ヶ月に1回程度中学校へ訪問し、総合学習の一環として練習をしている。								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	後継者育成のため、小中学校への指導方法等の検討を行い地域が一体となった取り組みを検討していく
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	伝統芸能を伝えるため、後継者の育成や活動の支援を行う。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	引き続き事業を継続する。 今後も伝統芸能を次代に伝えるため、後継者の育成や活動の支援を行う。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	45	45	45	45	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	957	1,047	1,047	938	
	受益者	庄川民謡保存会会員及び中学生(保存会参加者)	(B)	47	43	43	48

5 予算編成(Action2)

事業内容	小中学校を対象として後継者育成のための学習会開催 各イベントでの庄川民謡披露 民謡衣裳等の保存管理	要求の ポイント	民謡保存会の会員の高齢化や後継者不足を解消するために、将来庄川を担っていく子どもたちや若者たち等の幅広い年齢層への継承を推進するため活動を支援する。	事業 実施 の 課題	民謡保存会の会員が高齢化している中で、次世代の庄川を担っていく子どもたちや若者たちへの幅広い人材の確保するための方法を検討する必要がある。	文化 財課	・民謡などの地域芸能の伝承、後継者の育成は継続的に行うことが大切である。今後も計画的な支援が必要である。 ・公開の場を増やしていくことを他地域も含め検討する。
地域 政策 課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。						

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		45	45	0	45	45	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	45	45	0	45	45		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	文化財標柱設置事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画、文化財標柱整備事業計画	市長 公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等を解りやすく紹介するためのパンフレット、説明看板等の整備や、人と人との繋がりを大切に語り部の育成に取り組みます。
	款			9	教育費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	荘川支所 基盤産業課	内線	3331	項	4	社会教育		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	400 千円			
				目	7	文化財費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	指定文化財について、広く市民に周知するために標柱を設置する。	概要	事業の実施 手法(手段)	過去に設置されているものは木製で老朽化が著しいため、恒久的な石製の標柱に更新する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・文化財標柱を4ヶ所に設置							
活動 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	文化財標柱設置本数		本	目標値		4		4
算出根拠等		設置本数	実績値		2	4		
算出根拠等		設置本数	達成率(%)			100		
成果 指標	計画に対する標柱の設置状況		%	目標値	27	27	27	16
	算出根拠等		計画/設置済本数	実績値		2	6	
算出根拠等		計画/設置済本数	達成率(%)		7	22		
成果 面				目標値				
	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足	歴史的に価値のある文化財を後世に引き継ぐため、文化財の理解を高め保全意識の向上を図る。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	石柱設置箇所を精査し、より効果が図られるよう計画の見直しが必要である。
---------------------	-------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	石柱設置箇所を精査のうえ計画を見直し、平成26年度までに事業を完了する。	
次年度 の実施 方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	平成26年度までに計画している標柱を地域振興特別予算において設置する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	389	748	800	840
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4	8	9	9
	受益者	観光客(1月~12月)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業 内容	文化財標柱を4ヶ書に設置 ①山中峠のミズパショウ群落 ②牧ヶ野道場跡 ③寺河戸のサワラ ④町屋橋の松とイチイと地藏尊	要 求 の ポ イ ン ト	腐食した木柱を、腐食することのない石柱に、27箇所から16箇所に変更して設置	事業 実 施 の 課 題	支所	平成26年度までに事業を完成させるため、標柱設置箇所を精査のうえ計画を見直す。	文化 財 課	文化財標柱・説明看板の設置は文化財保存や啓蒙の観点から必要であり、設置計画に基づき計画的に設置を進める必要がある。
	地域 政 策 課		計画的に実施し、地域振興特別予算措置期間に完了することが必要である。					

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		800	840	40	400	400	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	800	840	40	800	800		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	高山市スポーツ振興計画、地域振興計画	市長 公約	1 「合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします」 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り 合って取り組む活動に支援します。	
種別				款	9	教育費		○	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	荘川支所 地域振興課			項	5	保健体育費			C					終期を定めて実施する事業・単年度事業
	内線 3312			目	1	体育総務費			D					その他事業
										H25計画額	150 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町民	どうしたい のか (意図)	各種スポーツ大会を開催することで、スポーツと触れ合う機会から町民の健全な心と体を鍛えるとともに、一人スポーツの重要性が認識され、健康で明るい地域づくりを推進する。	概要	事業の実施 手法(手段)	事業主体:地区社会教育運営委員会 開催時期:随時(年間) 事業内容:各種スポーツ大会開催
	対象者数	1,274 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	バレーボール大会、ゲートボール大会、ソフトボール大会、ファミリー駅伝、グラウンドゴルフ大会、バドミントン大会、剣道大会、スキー大会								
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
	活動 指標	スポーツ大会実施回数	回	目標値		8		8	8
		実績値		8		8			
	算出根拠等		町民大会開催回数	達成率(%)		100			
	活動 指標	参加者数	人	目標値		460		460	460
		実績値		448		460			
	算出根拠等		全競技参加者数	達成率(%)		100			
	成果 指標	平均参加者数	人	目標値		80		80	80
		実績値		56		80			
	算出根拠等		スポーツ大会参加者数/開催数	達成率(%)		100			
	算出根拠等			達成率(%)					
	算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			達成率(%)						
補足	各種スポーツ大会を行うことにより、スポーツと触れ合う機会を増やし、町民の誰もが参加しやすいスポーツ大会を開催する。								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	参加者が横ばい傾向にあるため、住民が参加しやすいスポーツ大会を検討していく必要がある。 軽スポーツ等町民が参加し、楽しめるスポーツを兼用していく必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	支援の段階的な見直しを検討していく必要がある。	
次 年度 の 実 施 方 針	維持・改善	
	拡大	みんなが参加しやすいスポーツ大会を検討していく。(スポーツ推進委員との連携)
	縮小	軽スポーツ等、町民誰もが参加しやすく楽しめるスポーツ大会の計画
	廃止検討	
二 次 評 価	維持・改善	
	拡大	・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。
	縮小	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	150	300	300	150
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	116	233	235	118
	受益者	荘川町民(4月1日現在)	(B)	1,294	1,287	1,274

5 予算編成(Action2)

事業内容	町内のスポーツ人口を増加させることを目的とした大会に対する経費を助成	要求の ポイント	町民みんなが参加しやすいスポーツ大会の開催(8競技)	事業 実施 の 課題	支所 参加者が年々減ってきており、更なる魅力ある大会を計画し地域住民のコミュニケーションと、誰もがスポーツに親しむことのできる大会種目等 等を検討する必要がある。	ス ポ ー ツ 推 進 課 地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続 する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。	地 域 政 策 課 同上
------	------------------------------------	-------------	----------------------------	---------------------	---	---	-----------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		300	150	△ 150	150	150	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	300	150	△ 150	150	150		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域おこし協力員活用事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	106 合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の個性あるまちづくりと、地域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。
	款			2	総務費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	荘川支所 地域振興課	内線 3321	項	1	総務管理費	目	9	企画費	H25計画額	3,000	千円		
				1	総務費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業					
								D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川地域住民	どうしたいのか (意図)	農山村地域の活性化に意欲ある都市住民(若者等)を「地域おこし協力員」として委嘱し、地域で活動する団体等と協働して地域おこし活動に従事するとともに、外部からの視点を活かした地域資源の活用や地域振興策を提案・実施することで地域の活性化を図り、地域力の維持・向上を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	都市部の視点を活かすことを基本として、主に次の地域活動を地域の核となる団体と協働して取り組む。 ・地域資源の調査・整理 ・各関係団体との協議会への参加、提案等(地域行事への参加)
	対象者数	1,274 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・財団法人荘川観光振興公社を協働団体とし、主に「桜香の湯」において接客業務に携わりながら、観光客の動向や現状分析等を実施 ・「飛騨高山展」での特産品PR及び販売に従事(7月29～31日) ・荘川神社若連中への参加(9月1～16日) ・各地区での「健康サロン」への参加及び「桜香の湯」への誘客PRの実施(平成24年1～3月)						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	地域資源の体験調査・整理 (観光、農林業、自然等地域資源)	件	目標値		20	12	12
	実績値			2			
算出根拠等	1件/月×12ヶ月		達成率(%)		10		
活動指標	会議等への出席回数	回	目標値		18	24	24
	実績値			9			
算出根拠等	2回/月×12ヶ月		達成率(%)		50		
活動指標	自然体験への参加回数	回	目標値			35	40
	実績値			2			
算出根拠等	5回/月×7ヶ月		達成率(%)				
成果指標	地域振興に対する提案(提案件数)	件	目標値			10	10
	実績値			6			
算出根拠等	10回/年		達成率(%)				
成果指標	荘川地域での自然体験実施回数 (荘川観光協会主催によるものに限る。)	回	目標値			35	40
	実績値			1			
算出根拠等	5回/月×7ヶ月		達成率(%)				
補足	・地域おこし協力員と地域住民との交流は進んでおり、地域における認知度が高くなってきている。						
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・地域おこし協力員の活動内容を荘川町民に周知し、荘川町民が地域おこし協力員が必要だという意識を高める必要がある。 ・地域おこし協力員から荘川地域の活性化策を提案できるように協力員のスキルアップを図るため、積極的に研修会等に参加できるように支援する。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・平成23年度の活動報告書を荘川地域の全世帯へ配布し、これまでの活動内容の周知とこれまでの活動で考えたこと、荘川地域で実施した方が良いと思う点などを周知する機会を設けた。	
次年度の実 施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・地域おこし協力員と地域住民に対し直接地域活性化策を提案できる機会を設ける。 ・荘川地域の活性化のために提案を行う活動へと移行する。そのため、協働団体を「荘川観光協会」とし、荘川地域の活性化のために「荘川観光協会」と「地域おこし協力員」が協働してアイデアを出し合い、新たな地域資源の発掘から活用方法の提案及び活用事業を実施する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・活動目標を明確化するとともに活動拠点以外の地域での交流などにより地域との連携を強化する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	1,783	3,300	3,360
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		1,385	2,590	2,637
	受益者	荘川地域住民	(B)	1,287	1,274	1,274

5 予算編成(Action2)

事業内容	都市部の視点を活かすことを基本として、主に次の地域活動を地域の核となる団体と協働して取り組む。 ・地域資源の調査・整理 ・各関係団体との協議会への参加、提案等(地域行事への参加) ・荘川地域における自然体験活動の推進を図るため、関係機関や地域住民と一緒に調査や取り組みの提案を行う。	要求の ポイント	・地域おこし協力員が活動するために必要な経費を計上	事業 実施 の 課題	・地域おこし協力員の委嘱期限が平成26年3月31日までであるため、平成26年度以降の地域おこし協力員の定住や支援について検討する必要がある。	地域 政策 課	・協力員の活動目標の明確化と、受入団体の体制及び地域との連携を強化することが必要である。
------	--	-------------	---------------------------	---------------------	--	---------------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,300	3,360	60	3,200	3,200	積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	3,300	3,360	60	3,200	3,200		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	61199	庄川ブランド商品開発 ・販売拡大事業	予 算	会計	1	一般	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・高山市にふさわしい土産物の開発、生産、パッケージ化、販売を支援しま す。
	課			款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	庄川支所 基盤産業課	内線 3341	予 算	項	1	商工費	O	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	1,000 千円		
				目	1	商工振興費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市西商工会庄川支部 会員	どうしたい のか (意図)	・地域特産品に関係する生産者、製造者、販売者及び商工関係等が一体となり、都市部や市内外のあらゆる場や、あらゆる手法で地域産物のPRを行い、新たな販路開拓、販売拡大を促進する事で地域産業の活性化を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・中部、北陸方面の都市部において、都市住民や観光客が集う場で物産販売を展開し、地域物産を広くPRする。
	対象者数	73 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	名古屋中日ビル物産展参加 名古屋松坂屋「飛騨高山展」参加							
活動 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	物産展の参加回数		回	目標値		2	2	1
算出根拠等		参加回数	達成率(%)		2	100		
成果 指標	物産展仕入額		円	目標値		570,000	340,000	200,000
	算出根拠等		仕入額	実績値	347,045	403,618		
算出根拠等		仕入額	達成率(%)		71			
成果 指標	物産展販売品目数		点	目標値		28	28	30
	算出根拠等		品目数	実績値	25	28		
算出根拠等		品目数	達成率(%)		100			
成果 指標	物産展売上額		円	目標値		570,000	340,000	200,000
	算出根拠等		売上額	実績値	-	417,996		
算出根拠等		売上額	達成率(%)		73			
成果 指標	マーケティング講習会		回	目標値		0	5	2
	算出根拠等		実施回数	実績値	3	0		
算出根拠等		実施回数	達成率(%)					
補足				目標値				
	算出根拠等			実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
名古屋松坂屋物産展への参加により、多くの来場者に商品のPRができ、大きな宣伝効果を生み出した								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	物産展参加後の効果の検証と自立した取り組みへの指導
---------------------	---------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	物産展の参加に加え、販売戦略などを学ぶ講習会を行い販路拡大を図るための取り組みが必要である。	
次 年度 の 実 施 方 針	○維持・改善	物産展へ参加し、ある程度の商品PRができ、自主的に物産展に参加しようという意識が図られたが、地域特有の商品や季節限定商品などの商品開発を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二 次 評 価	○維持・改善	・自立した取り組みへの移行を促す必要がある。 ・地域資源の発掘・育成やブランド展開、地域資源を活かした新商品開発などについて検討する必要がある。 ・他地域との連携を図りながら、都市圏等で開催される物産展やイベントなどに参加し、地域資源の販売促進及びPRを積極的に行う必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	613	800	800
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	8,397	10,959	10,959
	受益者	高山西商工会庄川支部会員	(B)	73	73

5 予算編成(Action2)

事業 内容	庄川地域の特産物を利用した新たな商品の開発	要 求 の ポ イ ン ト	専門家による商品開発のコーディネートに係る経費 新商品のパッケージや試作品の作成に係る経費 先進地研修に係る経費 新商品の宣伝PRを兼ねた物産展の実施	事業 実 施 の 課 題	支 所	試作品の開発後の商品の販売戦略の立案が必要である。	商 工 課	新商品の開発後の販路開拓、販路拡大に継続して取り組む必要がある。
							地 域 政 策 課	事業効果の詳細な分析と今後の取組みへの反映が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		800	800	0	800	800	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	800	800	0	800	800		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62399	地域観光施設事業 (そばの里五連水車修繕事業)	内線	3332	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	第七次総合計画(後期)、活性化計画	市長 公約	10 ○市民のための行政改革を断行します。 ・市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設・土地などの有効利用を行います。
	款					6	商工費				
担当課	荘川支所 基盤産業課			2	目	2	観光費	H25計画額	千円		
	項	2	観光施設費			C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
						D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客数(1月～12月)	どうしたい のか (意図)	そばの里五連水車は、建設から10年が経過したが、これまで点検整備等を実施していない。荘川町のランドマークである本施設は訪問者も多く、老朽化による不測の事故等を防止し、そばの里荘川のシンボルとして今後も有効利用するため、老朽箇所の修繕を行う。	概要	事業の実施 手法(手段)	水車の老朽箇所について修繕を行う。 ・揚水水車腕木、柄杓取替え ・φ13m水車コウ先端効取り付け
	対象者数	413,248 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	平成25年度(単年度)事業のため実績無し							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	成果 指標	そばの里入場者数	人	目標値			38,000	40,000
		実績値		51,211	38,684			
	算出根拠等	観光客入込客数調査		達成率(%)				
		目標値						
	算出根拠等			実績値				
		達成率(%)						
	算出根拠等			目標値				
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				
		目標値						
	算出根拠等			実績値				
達成率(%)								
算出根拠等			目標値					
	実績値							
算出根拠等			達成率(%)					
	目標値							
算出根拠等			実績値					
	達成率(%)							
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	
次年度の実 施方針	維持・改善
	拡大
二次評価	縮小
	廃止検討
二次評価	維持・改善
	拡大
二次評価	縮小
	廃止検討

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	0	0	1,750
	受益者1件当たり(円)	(A/B)				44
	受益者	観光客数(1月～12月) H25目標	(B)	0	0	0

5 予算編成(Action2)

事業 内容	老朽化に伴う修繕 ・揚水水車腕木、柄杓取替え ・φ13m水車コウ先端効取り付け	要 求 の ポ イ ン ト	事業 実 施 の 課 題	観光課	特に緊急性、必要性のあるものについて優先的に実施していくこと。
				地域 政 策 課	修繕を行う意図を鑑み、施設の利用者増加策に取り組むことが必要。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	1,750	1,750	1,700	1,700	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	0	1,750	1,750	1,700	1,700		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62399	地域観光施設事業 (御母衣ダム湖面活用事業)	内線	3331	特別 予算の 位置 付け	会計 1 一般会計	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 国際的かつ福祉観光都市として将来的に継続できる歴史、文化、人情、食、技を中心とした観光基盤をさらに発展させ付加価値を高めます。
種別						款 6 商工費	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	荘川支所 基盤産業課					項 2 観光費	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	12,000 千円		
						目 2 観光施設費	D その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	湖面利用者	どうしたいのか (意図)	御母衣湖の湖面を利用することは、荘川町民の長年の夢であったが、関係者の努力により平成24年度から自然体験メニューとして、ボートによる体験活動を実施している ・全ての湖面利用者が安全で安心して利用いただくよう湖面利用のルールを作り、みぼろ湖キャンプ場をボートの乗り入れ拠点とした舟着き場の整備を行う	概要	事業の実施手法(手段)	・関係機関と連携し、湖面利用に係るルール作り ・ボート乗り入れ歩道の整備(L=105m、W=3.0m)
	対象者数	1,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	平成25年度(単年度)事業のため実績無し								
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
	活動 指標	乗入れ歩道整備延長		m	目標値				105
					実績値				
		算出根拠等 延長			達成率(%)				
	成果 指標	湖面利用客数		人	目標値				1,000
					実績値				
		算出根拠等 利用者数			達成率(%)				
	成果 指標	御母衣湖キャンプ場利用客数		人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000
					実績値	2,455	2,805		
		算出根拠等 利用者数			達成率(%)	82	94		
	成果 指標	観光客入込数(荘川地域1月~12月9)		人	目標値	460,000	460,000	460,000	460,000
					実績値	466,613	413,299		
		算出根拠等 入込客数			達成率(%)	101	90		
				目標値					
				実績値					
算出根拠等			達成率(%)						
補足	健康増進、荘川桜物語のPR、湖面活用								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況		
次年度 の実施 方針	維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
	維持・改善	
	拡大	
二次 評価	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	0	0	4,210
	受益者1件当たり(円)	(A/B)				4,210
	受益者 湖面利用者	(B)	0	0	0	1,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	乗入れ歩道整備 ①歩道整備 ・巨石積工 ・路盤舗装工 ②舟着き場歩道 ・巨石据付工 ・コンクリート舗装	要求の ポイント	御母衣湖は湖面水位が大きく変動することから、ハイウオーター部分までの導入歩道及び斜面を付けた舟付き場を整備する	事業実施の 課題	誰もが安全で安心して利用できる舟付き場の整備が必要である	観光課	御母衣湖のボート乗り入れ拠点を整備し、今後、更に湖面を有効活用できるよう周辺整備及び体験内容の検討を行うこと。
						地域政策課	実施による効果を検証するとともに、施設の利用者増に取り組むことが必要。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	4,210	4,210	4,200	4,200	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	0	4,210	4,210	4,200	4,200		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74799	地域快適環境整備振興事業費 (沿道修景整備事業)	内線	3331	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画、高山市環境基本計画	市長 公約	4 市民が幸せな家庭生活をおくり、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティー活動や環境整備事業の予算枠を確保します。
	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	荘川支所 基盤産業課			7	1	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	2,000 千円		
	課長					D	その他事業				
会計	1	一般会計	7	土木費	4	都市計画費	7	快適環境整備費			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川地域住民	どうしたいのか(意図)	国道156号158号沿線及び荘川町内の市道等の環境整備(草刈)を実施し、不法投棄の防止及び沿道の環境美化により「すみよさ」を感じられる町づくりを目指す。	概要	事業の実施手法(手段)	沿道修景整備(除草)
	対象者数	1,274 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	国道158号線沿線の環境整備(除草) A=10.94ha						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	沿道修景整備(除草)	ha	目標値		22	17	17
	実績値		0	11			
	算出根拠等	除草面積	達成率(%)		50		
成果指標	観光客数(荘川地域1月~12月)	人	目標値		460,000	460,000	460,000
	実績値		457,459	413,299			
	算出根拠等	観光客入込客数	達成率(%)		90		
成果指標	不法投棄	件	目標値		0	0	0
	実績値		1	0			
	算出根拠等	不法投棄発生件数	達成率(%)				
成果指標			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				
地域要望件数			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	環境美化意識の向上、外来植物の駆除						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 沿道景観の保全に対する声も高く、実施場所の精査が必要である。 地域と連携し、効果的な外来植物の駆除を図る必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄防止や外来植物繁殖地の駆除の視点から実施箇所を精査し実施する。 	
次年度の 実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 地域要望に応じた実施箇所の見直しを行い、効果的な実施場所を決定する。 定期的なノットロールにより不法投棄等の防止に努める。
	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 県が管理する道路の草刈りは、道路管理者に安全確保の観点から事業実施を要望する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	0	1,785	2,000	2,000	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	1,387	1,570	1,570	
	受益者	荘川地域住民	(B)	1,294	1,287	1,274	1,274

5 予算編成(Action2)

事業内容	・国道158号線等沿線の除草	要求のポイント	・不法投棄防止及び外来植物の除去など、景観保全を図る。	事業実施の課題	支所	<ul style="list-style-type: none"> 外来植物の繁殖箇所を精査し、効果的な除草計画を作成し実施する。 	都市整備課	<ul style="list-style-type: none"> 県が管理する道路沿いの草刈については、県が事業実施するよう要望する必要がある。 	地域政策課	・同上
------	----------------	---------	-----------------------------	---------	----	---	-------	---	-------	-----

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,000	2,000	0	2,000	2,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,000	2,000	0	2,000	2,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	81399	火の見やぐら解体・撤去事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	40 市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。
	款			8	消防費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業				
	項			1	消防費	C		終期を定めて実施する事業・単年度事業				
	目			3	地域消防施設振興事業	D		その他事業				
担当課	荘川支所 地域振興課		内線	3321					H25計画額	千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町民	どうしたいのか (意図)	現在使用されておらず、また老朽化している火の見やぐらを撤去して欲しいという地域住民の要望が強い。火の見やぐらを撤去し、地域住民が安心して生活できる環境を整える。	概要	事業の実施 手法(手段)	現在使用されていない火の見やぐらの撤去
	対象者数	1,274 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動 指標	荘川地内の火の見やぐら数	箇所	目標値					8
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
活動 指標	地域振興特別予算で撤去対象となる火の見やぐらの数	箇所	目標値					5
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
成果 指標	撤去した火の見やぐらの数	箇所	目標値					5
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
成果 指標			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
成果 指標			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補 足	消防団車庫整備計画で撤去予定の3箇所を除く5箇所火の見やぐらの撤去を実施		目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況		
次 年 度 の 実 施 方 針	担 当 課 評 価	維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討
	二 次 評 価	維持・改善
		拡大
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
歳出(千円)	(A)	0	0	0	4,140
受益者1件当たり(円)	(A/B)				3,250
受益者	荘川町民 (B)	0	0	0	1,274

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	荘川町内にある使用されていない火の見やぐら5箇所について撤去を行う。 なお、下野々俣地区にある火の見やぐらは、現在ホース乾燥塔として使用しているため撤去と同時にホースタワーを設置する。	要 求 の ポ イ ン ト	消防団車庫整備計画に位置付けられていない火の見やぐら5箇所の解体及び撤去費用を計上	事業 実 施 の 課 題	支 所	消防団車庫整備計画において消防団詰所の更新と同時に撤去を検討している火の見やぐらの早期撤去が必要である。	消 防 総 務 課	不要となった火の見やぐら等については、地域振興特別予算等を活用して、計画的に撤去していく必要がある。	地 域 政 策 課
--------------	---	---------------------------------	---	-----------------------------	--------	--	-----------------------	--	-----------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	4,140	4,140	4,200	4,200	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	0	4,140	4,140	4,200	4,200		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	92299	新島小学校交流推進事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 「合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします」 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り 合って取り組む活動に支援します。
	款			9	教育費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	荘川支所 地域振興課	内線 3312		項	2	小学校費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	420 千円		
				目	2	教育振興費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学6年生	どうしたい のか (意図)	荘川小学校と東京都新島小学校との交流を深めることは、相互の伝統・文化・習慣などを学び、広い視野に立って郷土を理解することができる。また、義民甚兵衛と孝子勘左衛門の遺徳を偲び、数々の体験や感動の中から郷土愛や親子の絆を深める。	概要	事業の実施 手法(手段)	荘川小学校が東京都新島小学校を訪問し交流を行う。 実施期間:平成24年7月 2泊3日 場所:東京都新島小学校 対象:荘川小学校6年生全員9名・引率3名
	対象者数	12 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	実施期間:平成23年7月 2泊3日 場所:東京都新島小学校 対象:荘川小学校6年生14名・引率3名							
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動 指標	新島交流参加者数	人	目標値		17		12	23
			実績値	10	17			
算出根拠等		小学6年生児童及び先生	達成率(%)		100			
成果 指標	新島研修参加率	%	目標値		100		100	100
			実績値	100	100			
算出根拠等		小学6年生児童及び先生出席率	達成率(%)		100			
成果 面	算出根拠等		目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足	新島小学校との交流を行うことにより郷土愛や親子愛の再確認							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	今後の新島研修のあり方について、実行委員会等で検討していく
---------------------	-------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	実行委員会と協力して、今後の活用方法を検討していく必要がある	
次年度 の実施 方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	実行委員会との協議を踏まえ、今後の方針を検討する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	420	500	420	721
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	42,000	29,412	35,000	31,348
	小学6年生+引率者	(B)	10	17	12	23

5 予算編成(Action2)

事業内容	東京都新島小学校との児童交流事業に対する助成	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	学校 教育 課 地域 政 策 課	特定地域の学校による他都市との交流事業に対する取組方針を定める必要がある。 同上
------	------------------------	-------------	---------------------	------------------------------------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	420	721	301	720	720	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	420	721	301	720	720		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21099	地域間交流推進事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。 市民のみならずと協働でまちづくりを行います。 ・自主的な地域活動、市民活動の支援と、団体を支える人材の発掘・確保・育成や組織基盤の強化のための支援を行います。
種別				款	2 総務費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	荘川支所 地域振興課			項	1 総務管理費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業				
内線	3321			目	10 市民活動推進費		D その他事業				
								H25計画額	280 千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町民	どうしたいのか (意図)	郷土の偉人、上木基兵衛が没した「新島村」との相互の交流を図る中で、当時の豪農「三島勘左衛門」との関わり等の歴史や両名の功績を学び地域への伝承を図る。 また相互における関わりが今なお伝承保存されている長栄寺、新島村博物館、十三社神社等を訪れることにより、飛騨の孝子物語が語り継がれていることや島民との関わりなど再認識することを目的とする。	概要	事業の実施 手法(手段)	新島村との交流事業 ・実施期間：11月中旬～1月下旬 ・参加人数：115名 随行2名) 新島村での対応 ・新島村長、新島村商工会長、新島観光協会長、長栄寺住職、十三社神社宮司、村民との交流
	対象者数	1,274 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	参加者が最低人数に達しなかったため、実施しなかった。								
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
	活動 指 標	実行委員会開催回数	回	目標値		1		3	3
		実績値			2	1			
	活動 指 標	参加者人数	人	目標値		20		15	10
		実績値			6	0			
	成果 指 標	募集に対する申込者数	人	目標値		15		15	10
		実績値			6	1			
	成果 指 標	当事業への参加者に対する助成件数	件	目標値		20		15	10
		実績値			6	0			
	補 足	算出根拠等			達成率(%)				
		算出根拠等			達成率(%)				
	新島村から荘川地域への訪問がこれまで隔年で実施されており、平成24年度訪問が行われる予定である。その際に地域住民を挙げて歓迎することとしている。								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現在小学生と一般住民と別々に実施している新島村との交流を、全地域を挙げた交流として事業の統合も含め検討する必要がある。 ・一般住民向けに再度新島交流についてや新島村との歴史的関係に関する勉強会等を開催する機会を設けることを検討する必要がある。 ・交流事業への参加者の負担を軽減し、誰でも気軽に参加できる方法を検討する必要がある。(平成22年度 1人当たり約56,000円の自己負担)
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の新島村との交流方法について、実行委員会を開催して検討する準備を進めている。 ・新島村からの交流団が荘川地域へ訪問されることから、受け入れに対する準備を進める必要がある。
次年度 の実 施 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ○維持・改善 ○拡大 ○縮小 ○廃止検討 ○維持・改善 ○拡大 ○縮小 ○廃止検討 <ul style="list-style-type: none"> ・地域小学校教育振興事業との合同実施等や交流費用の積立など継続して実施する方法を住民と一緒に検討する。 ・引続き地域に根付いた交流が続けられるよう、補助金に頼らず自主的運営に向けた取り組みを段階的に進める必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	97	0	170	172
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	75	0	133	135
	受益者	荘川町民	(B)	1,290	1,287	1,274

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	荘川地域・新島村交流実行委員会が実施する新島村との交流研修事業に対する助成	要 求 の ポ イ ン ト	事業 実 施 の 課 題	支 所	<p>現在荘川地域において新島村との交流は、小学生を対象とした地域小学校教育振興事業による交流と、一般の荘川町民を対象とした交流が実施されているが、今後は荘川町としての交流方法について検討する必要がある。</p> <p>地域 政 策 課</p> <p>地域に根付いた交流事業として、当面当事業を継続する中で、実行委員会での自主的な事業実施など事業のあり方について検討する必要がある。</p> <p>特定地域における他自治体との交流事業に対し、市全体としての取組み方針を定める必要がある。</p>	市民 活 動 推 進 課
--------------	---------------------------------------	---------------------------------	-----------------------------	--------	---	-----------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		170	172	2	180	180	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	170	172	2	180	180		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	地域観光振興事業 (広域連携誘客促進事業)	内線	3341	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市 長 公 約	積極的な観光振興策を実施します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図る。
	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	荘川支所 基盤産業課			2	1	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	1,300	千円	
	課長					D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川地域の観光客(1月～12月)	どうしたい のか (意図)	多くの人々に地域の魅力を知ってもらうため、高鷲・荘川・白川と連携して広域的な誘客を進める。	概要	事業の実施 手法(手段)	①高鷲・荘川・白川連携誘客促進事業 3地域合同周遊マップの作成(夏季) ②荘川・白川連携誘客促進事業 さくら街道スタンプラリーの実施
	対象者数	413,299 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・さくら街道スタンプラリーの実施 ・さくら街道リーフレットの作成 ・高鷲・荘川・白川3地域合同周遊マップの作成(夏季)						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	スタンプラリー・周遊マップ配布枚数	枚	目標値		75,000	50,000	50,000
	算出根拠等	配布枚数	実績値	73,000	50,000		
活動指標	スタンプラリー参加者数	人	目標値		2,000	2,000	2,000
	算出根拠等	参加者数	実績値	1,445	1,099		
成果指標	スタンプラリー応募者	人	目標値		2,000	1,500	1,500
	算出根拠等	応募者数	実績値	1,445	1,099		
成果指標	観光客入込客数(1～12月)	人	目標値		460,000	460,000	460,000
	算出根拠等	観光客入込調査	実績値	466,613	413,299		
成果指標	国道156号線交通量(5月3日～5日調査)	台	目標値		3,500	3,500	3,500
	算出根拠等	連休中の交通量調査	実績値	2,676	2,975		
補足			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
高鷲・荘川・白川3地域の連帯感ができ、広域的な誘客が推進できた。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	観光客が訪れたいような魅力あるパンフレットの作成と、地域連携によるスタンプラリーの実施
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	地域間の連携強化を図るため、数回の打ち合わせ会を開き、滞在型周遊型の観光についてなど情報交換を行う。	
次年度 の実施 方針	○維持・改善	観光客に見やすく、何でも足を運びたいような観光スポットの紹介など3地域だからこそできるパンフレットを作成し、誘客促進を図る。 荘川・高鷲・白川地域で実施している体験型観光のパンフレットの作成。 国土交通省の日本「風景街道」、「合掌・さくら」飛越街道との連携を図る。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
二次 評価	○維持・改善	・民間団体主体への移行を検討する必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,108	807	900	861
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	767	734	450	431
	受益者	スタンプラリー参加者	(B)	1,445	1,099	2,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	荘川町近隣の郡上市高鷲町と大野郡白川村と連携し、国道を利用した誘客促進を図る。 3地域合同の周遊マップの作成 荘川と白川をつなぐ156号を利用したさくら街道スタンプラリーの開催	要求の ポイント	3地域合同周遊マップ作成印刷料 白川荘川スタンプラリー実施に係る経費	事業 実施 の 課題	支 所	事業の効果を検証し、誘客促進にむけての取り組みが必要である。	観 光 課	滞在・周遊型観光を促進するために、地域間の連携強化を図ること。
							地 域 政 策 課	事業効果の詳細な分析と今後の取り組みへの反映が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		900	861	△ 39	900	900	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	900	861	△ 39	900	900		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74799	地域快適環境整備振興事業 (荘川桜の里づくり事業)	内線	3331	特別 予算の 位置 付け	会計 1 一般会計	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 国際的かつ福祉観光都市として将来的に持続できる歴史、自然、文化、人情、食、技を中心とした観光基盤をさらに発展させ付加価値を高めます。
	款 7 土木費					B 一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	荘川支所 基盤産業課			7	項 4 都市計画費	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	3,000 千円			
	目 7 快適環境整備費				目 7 快適環境整備費	D その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客(1月～12月)	どうしたいのか (意図)	県指定天然記念物「荘川桜」は荘川地域のシンボルであり、地域住民はもとより県内外の多くの方々に愛されている。その荘川桜をシンボルとした地域づくりを荘川桜二世の植樹及び特色ある公園整備(ドックラン、ニューツーリズムのフィールド整備)によって、荘川桜への観光客を促進するとともに桜物語の更なるPRを推進し、交流人口増加により地域振興を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・御母衣ダム沿線環境整備 ・荘川桜二世の里整備 ・荘川IC周辺に荘川桜二世を植樹
	対象者数	413,299 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		荘川桜の里整備(歩道整備、除草)						
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	算出根拠等	桜植栽本数	本	目標値		0	20
実績値					5	0		
活動指標	算出根拠等	みぼろ湖キャンプ場利用者数	人	目標値		3,000	3,000	3,000
				実績値	2,455	2,805		
活動指標	算出根拠等	みぼろ湖キャンプ場年間利用客数	人	目標値		30,000	30,000	30,000
				実績値	38,170	26,023		
活動指標	算出根拠等	ドライブインみぼろ湖利用客数	人	目標値		30,000	30,000	30,000
				実績値	38,170	26,023		
成果指標	算出根拠等	観光客入込数(荘川地域1月～12月)	人	目標値		460,000	460,000	460,000
				実績値	466,613	413,299		
成果指標	算出根拠等	観光客入込客数(1月～12月)	人	目標値		3,500	3,500	3,500
				実績値	2,676	2,975		
補足	算出根拠等	健康増進、荘川桜物語のPR、湖面利用		目標値				
				実績値				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	自然体験型の活動の場として整備し、キャンプ場や御母衣湖周辺の交流人口の増加を図る。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	荘川桜の里整備(支障木伐採、除草、荘川桜二世植栽)	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	みぼろ湖キャンプ場との連携による効果的な交流人口の増加を図るため、整備手法を検討する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・荘川桜観光対策事業と合わせ、事業効果を検証する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	2,987	3,318	3,000	2,000
受益者1件当たり(円)	(A/B)	6	8	7	5	
受益者	観光客(1月～12月)	(B)	466,613	409,499	460,000	413,299

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・支障木伐採、草刈 ・歩道整備 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・御母衣湖をながめながら周遊し、荘川桜の広場で自然を満喫できる施設の整備 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・眺望を活かした魅力のある遊歩道及び展望広場の整備が必要である。 ・みぼろ湖キャンプ場の活用方法について協議し、施設利用客の利便性を考慮した施設整備 ・実施による効果を検証するとともに、施設の利用者増に取り組むことが必要 	都市整備課	地域政策課
------	--	---------	--	---------	--	-------	-------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,000	2,000	△ 1,000	3,000	3,000	・計画額どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	3,000	2,000	△ 1,000	3,000	3,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	化石を活用した地域活性化事業	予 算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公 約	1 新たな観光資源を発掘し活用します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
	款			9	教育費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	荘川支所 地域振興課	内線 3321		項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	1,000 千円		
				目	7	文化財費		O	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	・化石フォーラムをとおし、高山市の化石を全国発信し地域振興に繋げていく。 ・郷土の自然遺産に誇りを持つ子どもたちを育てながら次世代の担い手を育成していく。	概要	事業の実施 手法(手段)	・国立科学博物館や京都大学などの各研究機関との連携を密にし、研究者と協力して化石フォーラム及び、市民を対象にした化石発掘教室を開催する。 ・市民が参加しやすい化石発掘教室を開催する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・化石フォーラムの開催(8/7) ・化石発掘教室の開催(10/2,10/9、10/23、11/6、11/13、11/20) ・飛騨高山たから市での出張化石教室の開催(8/23) ・荘川地域での取り組み状況を白山手取川ジオパーク構想シンポジウムにて事例発表を実施(8/20)						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	化石フォーラム開催回数	回	目標値		1	1	1
	実績値			1	1		
活動指標	化石発掘教室開催回数	回	目標値		5	3	5
	実績値			8	6		
活動指標	化石フォーラム講師招聘人数	人	目標値		8	8	8
	実績値			9	8		
成果指標	化石フォーラム参加人数	人	目標値		100	100	100
	実績値			110	123		
成果指標	化石発掘教室参加人数(延べ人数)	人	目標値		60	60	75
	実績値			99	83		
補足	算出根拠等	例年参加者数から算出	達成率(%)				
	算出根拠等	例年参加者数から算出	達成率(%)		138		
補足	・出張化石教室の開催や白山市での事例発表等荘川地域外でのPRを実施した。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・荘川地域の化石を活用していくための担い手不足が続いている。 ・荘川地域の化石は日本でも珍しく貴重であることを荘川町内及び町外に周知することが必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・平成24年度も化石フォーラムや化石発掘教室を開催し、高山市内に住む子どもたちに化石の素晴らしさ、面白さを学んでもらえるようにする。 ・荘川町内で実施されるエコツーリズムで化石を題材とした体験活動を行うことについて関係機関と調整を行う。 ・「飛騨高山たから市」での化石教室を継続して実施し、荘川町外においても荘川の化石をPRする。
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
次年度の 評価	・平成25年度以降も継続して化石フォーラムや化石発掘教室を開催し、高山市内に住む子どもたちに化石の素晴らしさ、面白さを学んでもらい、次世代の担い手を育成する。 ・荘川町民を対象とした化石説明会などを実施し、化石に関する地域の理解を深める。
二次評価	・担い手育成を図るとともに、これまでの取り組みの効果を検証し、実施方法等について再検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,945	987	800	1,058
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	9,306	4,791	5,333	6,046
	化石フォーラム等参加者	(B)	209	206	150	175

5 予算編成(Action2)

事業内容	・国立科学博物館や京都大学などの各研究機関との連携を密にし、研究者と協力して化石フォーラム及び、市民を対象にした化石教室を開催する。 ・市民が参加しやすい化石発掘教室を開催する。	要求の ポイント	化石フォーラム及び化石発掘教室を開催するための経費を計上	事業 実施 の 課題	支所 荘川の化石は地域の宝であるため、担い手を育成するための土壌づくりを行う必要がある。 文化財課 ・地域の文化財保護の啓発や子どもへの教育の視点から重要な事業である。今後、計画的な継続事業とすることが課題である。 地域政策課 発掘した化石の今後の取り扱いも含め、地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。
------	--	-------------	------------------------------	---------------------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	800	1,058	258	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	800	1,058	258	1,000	1,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域振興助成事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。 合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。	
番付				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	荘川支所 地域振興課			内線	項	1		総務管理費	C					終期を定めて実施する事業・単年度事業
				3321	目	9		企画費	D					その他事業
								H25計画額	3,500	千円				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川地域住民	どうしたいのか(意図)	住民自らが主体となって取り組む地域振興事業を支援することにより、地域住民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進し、特色ある地域づくりにより地域活性化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	地域の住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対し、事業費(材料費等)の支援を行う。
	対象者数	1,274			人		

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	補助件数	12	件						
成果 指 標	指標名			単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指 標	申請件数	件	目標値		10		10	10
				実績値	6	12			
	算出根拠等			10件/年	達成率(%)		120		
	活動 指 標	補助件数	件	目標値		10		10	10
				実績値	6	12			
	算出根拠等			申請件数×100%	達成率(%)		120		
	成果 指 標	1件あたりの平均補助額	円	目標値		340,000		340,000	300,000
				実績値	473,667	348,583			
	算出根拠等			総補助額/補助件数	達成率(%)		103		
	成果 指 標	ハード事業実施割合	%	目標値		75		75	75
				実績値	50	75			
算出根拠等			ハード事業数/補助件数	達成率(%)		100			
				目標値					
				実績値					
算出根拠等				達成率(%)					
補足	地域住民が自らの手で、住みやすい地域づくりのために活動することが定着しつつある。								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	労力は地域住民が提供することとなっているが、高齢化等で労務を提供できない地域もあることから、他の支援方法を含めて検討する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	この事業のみならず、地域振興特別予算が26年度を以って終了するため、継続して荘川地域の活性化や魅力ある地域づくりを行うためにどのように対応するかを地域審議会にも諮り、地域の意見を反映させるための準備を行っている。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	平成27年度以降の対応方法を検討しつつ、当事業による支援が平成26年度までであることを周知し、効率的な予算執行を図れるようにする。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,842	4,183	3,400	3,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,203	3,250	2,669	2,747
	受益者	荘川地域住民	(B)	1,290	1,287	1,274

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成	要求のポイント	事業実施の課題	支所	地域政策課	地域政策課
------	---------------------------------------	---------	---------	----	-------	-------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	3,400	3,500	100	3,500	3,500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	3,400	3,500	100	3,500	3,500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域要望対応事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。 合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の個性を伸ばします。 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。
種別				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	荘川支所 地域振興課			項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
内線	3321			目	9	企画費		D	その他事業				
								H25計画額	3,500 千円				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川地域住民	どうしたいのか (意図)	市道、農道、水路、市所有施設等の公共施設の軽微な修繕など地域からの要望に対し即座に対応することにより、安全・安心・快適なまちづくりと特色ある地域づくりによる地域活性化を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	市道、農道、水路、市所有施設等の公共施設の軽微な修繕要望に対し、修繕を実施する。
	対象者数	1,274 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	対応要望 2件 ・荘川浄化公園誘導路舗装修繕事業 ・新洲地内緑地(公園)等修繕事業							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	各町内会からの要望提出件数	件	目標値			80	80
				実績値	86	83		
				算出根拠等	達成率(%)		104	
	活動 指標	要望現場確認件数	件	目標値			80	80
				実績値	86	83		
				算出根拠等	達成率(%)		104	
	成果 指標	要望に対しこの事業で対応した件数	件	目標値			10	10
				実績値	5	2		
				算出根拠等	達成率(%)		20	
				目標値				
				実績値				
			算出根拠等	達成率(%)				
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足	市で対応できる要望に対しては、できる限り対応するようしており、軽微なものに関しては即座に対応している。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・地域から公共施設の修繕に関する要望が多いため、平成27年度以降も要望が出てくることが多く、即座に対応することが困難になる可能性がある。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・この事業のみならず、地域振興特別予算が26年度を以って終了するため、継続して荘川地域の活性化や魅力ある地域づくりを行うためにどのように対応するかを地域審議会にも諮り、地域の意見を反映させるための準備を行っている。	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善	平成27年度以降の対応方法を検討しつつ、地域からの要望を踏まえ平成26年度までの計画的な修繕計画を立て予算の効率的な執行を図る。
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,464	2,751	9,300	10,200
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,685	2,138	7,300	8,006
	受益者	荘川地域住民	(B)	1,290	1,287	1,274

5 予算編成(Action2)

事業内容	・公共施設等の軽微な修繕	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	地域 政策 課	地域 政策 課
------	--------------	-------------	-----------------	----	---------------	---------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		9,300	10,200	900	9,800	9,800	・配分額の調整	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	9,300	10,200	900	9,800	9,800		